

## 20231005 小平市の挑戦！生ゴミの回収システムが始まった！

前回のテーマは「生ゴミの再資源化の肝は、燃えるゴミからの分別回収」でした。生ゴミだけを分別し回収することと、新しい取組を示されると「面倒くさい」と負担感ばかりが先立ってしまいがちですが、それを乗り越えようという取組を始めた自治体があります。我らが小平市です！

「食物資源循環事業」といいます。環境部・資源循環課の取組です。

小平市 HP には、こうあります。

「家庭から出る生ごみを堆肥化する食物資源循環事業を実施しています。『資源になるのでやりがいがある』『集積所がからず荒らされなくなった』『燃えるごみの量が減った』など、参加者から好評です。」

以下、HP から、

### ○事業内容

生ごみを入れたバケツを週 1 回集積所に出し、回収後にバケツを持ち帰ります。

○回収日 3 の地域に分け、東の地域…火曜日、西の地域…水曜日、中地域…金曜日

○申込み 市内 3 世帯以上でグループを作り、敷地内に集積所を決めて、代表者が申込みをしてください。（先着順）

参加が決まりますと、分別一覧表などを代表者にお届けします。また、参加者にできあがった堆肥を年 2 回差し上げます。

○バケツの用意 10 リットル程度のフタつきバケツをご自身でご用意ください。市販のバケツを用意いただくか、この事業専用のバケツを購入

いただくこともできます。専用バケツ購入の場合、半額の購入費補助金が出ますので、お問い合わせください。

回収後、堆肥化工場に運ばれた食物資源は、専用の処理機に投入し、かくはんして発酵させると、水分が抜け、約 20 日間で茶色の土のような堆肥のもとになります。これに、せんてい枝のチップを混ぜてさらに 2 週間ほど発酵させると堆肥が完成します。製品としてはその後さらに 3 カ月ほど寝かせてから出荷されます。

この堆肥を使った野菜や果物を食べて、野菜くずを専用バケツでまた出してというような資源循環を目指しています。

(小平市ホームページ)

[食物資源循環事業 参加世帯を募集 | 東京都小平市公式ホームページ \(city.kodaira.tokyo.jp\)](http://city.kodaira.tokyo.jp)

小平市、なかなかやるではないですか！さらに素晴らしいのは、小平市はコンポスト購入者には、購入価格の半額助成を行っていることです。さらにさらに、全国のゴミの少ない自治体ランキング（人口 10～50 万人の自治体）で小平市は全国第 8 位です！一人当たりの 1 日に出すゴミの量は、686.9 g とのことです。ちなみに第 1 位は、東京都小金井市です。609.4 g です。なんだ、あと約 80 g じゃないか！とってしましますが、そもそも考えましょう。1日に 700 g 近くをゴミとして毎日出している計算になっている生活とは何なのでしょう。そして、この量のかなりの部分をやはり「生ゴミ」が占めていることを考えると、小平市がスタートした「食物資源循環事業」をさらにすすめて、この取組を小平市の「当たり前」にできたら本当に素晴らしいと思います。